

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 3月16日

事業所名 放課後デイGranny弘前

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		5	1	ベッドが必要な利用者にはその都度別の保管場所より搬入。	利用者に応じた配置に設定する。
	2	職員の配置数は適切である		6	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	2		段差はバリアフリーであるが、手すりは場所により必要である。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		2	4		反映が不十分であり、今後の課題である。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		3	3		アンケート実施中。今後の業務改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		1	5		ホームページ又はフェイスブックに掲載予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	4		今後必要である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		6	0	研修資料はいつでも見返すことが出来るようにしている。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		4	2	アセスメントと共に相談支援事業所の計画も反映させている。	適切なアセスメントに努めたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		1	5		今後必要に応じ使っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		4	2	児発管が立案し、他職種の意見を反映させている。	チームでの連携を深めていくようにしたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		4	2	季節毎のイベントを心掛けている。	個別に対応したプログラムを設定していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		5	1	終日利用時は外出や屋外での活動を実施。	現在はコロナの影響で外出は控えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		2	4		利用者様の増加に伴い、計画、実践する
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		4	2		送迎等で時間が合わず、うまく行えていないのが現状であるが、今後は確認・振り返りの時間を設定したい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		4	2		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		6	0	記録は紙とタブレット（カイボケ）両方に行っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		3	3		今月（2月）モニタリング実施中。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		4	2	支援について複数の視点を持つ事も重要と考える。	ガイドラインはいつでも確認出来る場所に置き、基本姿勢として熟知する。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		5	1	児発管必須更に医ケア児が多い為、看護の参加も必須としている。		
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		6	0	送迎時担任の先生と情報交換をしている。		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	医師の指示書を頂いて、医療的配慮・処置の支援に反映させている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	相談支援事業所の担当者から情報は頂いている。	就学前の支援施設・児童発達支援事業所等とのやり取りも増やしていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	5		まだ、そのような事例は無いが、情報提供は積極的に行いたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	県のコンサルテーションチームと連携し、医ケア児対応の助言を随時受けている	研修は機会があったら、受けたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		機会の設定は現状では行う事が出来ない。(コロナ関連で)状況の改善が見られたら、設定してみたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	6		機会があったら、参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	送迎時のコミュニケーションは積極的にご家族様と関わりを持つよう心掛けている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5		機会を設けたい。ペアレントトレーニングを行う為の専門性を高めたい。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	24時間相談対応の体制をとっている。	保護者の相談にきちんと対応できるようにスキルを磨く必要がある。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		保護者会はまだ実施していないが、今後実施したい。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	苦情対応マニュアルは整備されている。	今後も苦情には真摯に対応していきたい。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	4		会報は今後作成したい。
35		個人情報に十分注意している	6	0	個人情報保護マニュアルを整備している。	
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	言語的・非言語的コミュニケーションを活用し、意思疎通に努めている	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	町内会に入って地域との連携を強めている。	開かれた事業所を目指すのが、行事等への招待までには至っていない。事業所見学は自由である。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2	事業所内研修は実施している。	保護者への周知には至っていない。機会を見て周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0	6		実施予定である。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	事業所内研修は実施している。	職員への徹底を図りたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	身体拘束排除マニュアルを整備している。	身体拘束排除マニュアルに沿って行われる事を想定しているが、拘束を必要とする事例は今のところ無い。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	利用開始前にご家族に確認している。	指示書に記載がある場合は、指示に従って対応する。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	記録に残し、内容の共有を図っている	周知徹底したい。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年 3月16日

事業所名 放課後デイGranny弘前

保護者等数（児童数） 2 回収数 2 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない		いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2					ご意見) 人数は完璧。PTもすごいありがたい。 対応) これからも専門性を生かした支援をこころがけたい。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2					
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	2					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	2					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1			1	ご意見) 無理に他での活動は希望していない。 対応) 現状では、コロナの影響で行う事はできないが、状況の改善が見られたら、設定してみたい。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	1				ご意見) 年一回面談する機会があった方が 良い。 対応) 是非面談の機会を設定したい。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			2			ご意見) 無理に保護者同士での活動は無くても良いが、希望者が有れば行った方が良いかもしれない。 対応) 保護者間の連携は必要であると考えているが、意見を聞きながら、機会を設定したい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2					ご意見) 意見を聞いてくれ、対応してくれたので、良い。 対応) 今後も苦情も含め、保護者からの相談には真摯に対応させて頂く。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか			1	1		ご意見) 今は、利用者が少ないのでよいが、今後会報等は有って良いと思う。 対応) 会報の制作・配布、HPの整備を行いたい。自己評価はHPに掲載予定である。
14 個人情報に十分注意しているか	2						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1		1			ご意見) コロナや風邪の時の休み期間は基本保健所や病院の指示で良いと思うが、マニュアルを紙面で作った方が良いと思う。 対応) 各種マニュアルは整備しているが、配布提示も必要と捉え、対応させて頂きたい。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		1			1	避難訓練は実施予定である。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	2					ご意見) 本人は利用をすごく楽しみにしている。 ありがたいと思う。 対応) 今後も楽しみにして頂けるよう、支援を創意工夫して行きたい。
	18 事業所の支援に満足しているか	2					ご意見) 思いをくみ取って下さり、助かっている。 対応) 今後もご本人、ご家族様に満足して頂けるよう、気を引き締めて頑張ります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。